

# 平成30年4月 三鷹市の「コミュニティ・スクールを 基盤とした小・中一貫教育」新たなステージへ

平成28年度に、三鷹市で最初の小・中一貫教育校「にしみたか学園」が開園10周年を迎えました。平成30年度は、連雀学園、東三鷹学園、おおさわ学園が10周年を迎え、来年度には、三鷹の森学園、三鷹中央学園、鷹南学園が続きます。こうした中で、国の法制度が改正され、三鷹市が先行して取り組んできた「コミュニティ・スクール」や「小・中一貫教育」の取り組みが制度化されました。教育委員会では、今後も国や東京都の制度を最大限に活用しながら、三鷹の教育に合うものを積極的に取り入れ、子どもたちの成長につながる取り組みを推進していきます。

⇒指導課☎内線3245



小・中学校の教員合同による学園研究会



学園長とコミュニティ・スクール委員会会長会議

## コミュニティ・スクール委員会の 一本化とコミュニティ・スクール 推進員の導入

これまで、学校単位の学校運営協議会と学園単位のコミュニティ・スクール委員会であったものを、法改正を生かし学園単位のコミュニティ・スクール委員会に一本化することで、学園としての主体的で特色ある取り組みを推進し、より一体感のある学園運営を図ります。

また、学校と地域をつなぐコーディネートの中心となる「コミュニティ・スクール推進員」を、学園ごとに順次配置していきます。学校と学校支援ボランティアとの調整機能を強化し、教育活動への地域の幅広い支援を持続的なものにするとともに、コミュニティ・スクールとしての事務局的な機能の充実を図ります。

## 小・中一貫教育校を 「小中一貫型小学校・中学校」に

学校教育法等の一部改正により、小・中一貫教育が法制度として位置付けられました。それを生かし、市内の全7学園を「小中一貫型小学校・中学校」とします。学園長が学園の学校間の総合調整を行うなど、学園長の権限を明確化するほか、組織体制を強化し、学園としての一体感の醸成を図ります。

また、平成30年3月に改訂した「三鷹市小・中一貫カリキュラム」(暫定版)を全教員で共有し、授業改善に生かすとともに、新学習指導要領の目指す「資質・能力」および各教科の「見方・考え方」等を踏まえたものとして深化させていきます。

## 3学園の10周年 記念事業を開催

平成30年度に開園10周年を迎える連雀学園、東三鷹学園、おおさわ学園の3学園合同の記念式典を開催します。記念事業の成果は、全7学園で共有し、これからのコミュニティ・スクールを進めていくうえでの契機とします。

また、10周年を迎える各学園で、小・中学校の児童・生徒が学園内に集まり、コミュニティ・スクール委員、保護者、地域の方々を迎える交流型の公開日を設ける予定です。

教員の働き方改革を通して、学校教育の質の向上を図ります  
「三鷹市立学校における働き方改革プラン」を  
策定しました

者や地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。

⇒指導課☎内線3240

教育委員会事務局と学校が連携・協働し、保護者や地域の皆様のご理解のもとに、次の3つの方向性を柱として取り組めます。

### I 教員が担うべき 業務に専念できる 環境の確保

教員の業務負担の軽減を図るため、専門スタッフや外部人材など人員体制の確保、留守番電話による時間外連絡体制の整備やICTの活用などによる業務改善を図ります。

### II 教員の意識改革 (タイムマネジメント、ライフ・ワークバランスの推進)

夏季休業中の学校閉庁日の実施などで休暇取得を促進します。また、教員が勤務時間を意識した働き方を実践できるように、退校目標時間等の設定やICTを活用した出勤時間の可視化などに取り組みます。

### III 部活動の適正化

学校における他の教育活動とのバランス等の観点から、部活動のあり方を見直します。部活動休養日の設定や活動内容・時間の見直し、部活動指導員の導入促進、部活動運営方針の策定などに取り組みます。

プランの全文は、市ホームページでご覧いただけます。

## 全市立小学校で

## 校内通級教室が スタートします

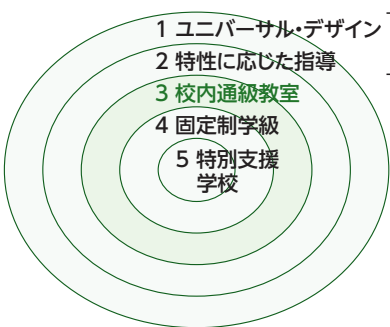
平成30年度から、全市立小学校で校内通級教室がスタートします。教員が拠点校から各小学校を巡回し、学習や学校生活に課題のある児童の一人ひとりの課題に応じて、個別や小集団での指導を行い、児童が自信を持って学校生活を送れるよう支援します。

教育委員会では、インクルーシブ教育の理念(下図)に基づき、学びの場の連続性を大切にする教育を目指します。

⇒学務課☎内線3291

| 校内通級教室の拠点校・巡回校                 |                             |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 拠点校：南浦小<br>巡回校：第四小、第五小、第六小、高山小 | 拠点校：第七小<br>巡回校：第三小          |
| 拠点校：北野小<br>巡回校：第一小、中原小、東台小     | 拠点校：第二小<br>巡回校：大沢台小、井口小、羽沢小 |

指導と支援の場の連続性



- ユニバーサルデザインによる誰にでもわかりやすい授業
- 学級内での特性に応じた配慮指導
- 特性に応じた個別又は小集団等による指導(校内通級教室・通級制等)
- インクルーシブな環境での特性に応じた指導(固定制等)
- より専門的で手厚い特性に応じた指導(特別支援学校)